

広島芸術学会 芸術展示《制作と思考》

第1回芸術表現企画

## 「とんがった表現を考える」

—広島芸術学会・広島芸術センター・蟹屋 Fine Arts 合同展—

昨今、広島でも地域に根ざして芸術をめざす動きが活発化してきました。地域再生運動の中で住民同士のつながりをつくり地域の歴史に関心を集めるため、芸術家による住民と共同での作品制作やワークショップなどの芸術活動が使われることも多くなりました。そのような中でシェアードアトリエというかたちで活動する横川創荘、蟹屋 Fine Arts、広島芸術センターのメンバーと広島芸術学会有志とのコラボレーション企画として「場所と人」にスポットをあてて、何が芸術かという命題を世代分野をこえて語り合えるきっかけになればと芸術表現展示企画を開催しました。

テーマは「とんがった表現を考える」でシェアードアトリエのメンバーとのとんがった勝負といったところでしょうか。世代をこえた遊び心での参加です。会場が狭いので、作品はミニチュア、厳密な規格は設定しませんでした。研究というくくりで、短時間でも制作可能なもの、また、過去に制作した思索の試作も可。小さいほどよいということで手のひらサイズ～といった規定で募集しました。

[Site A]：横川創苑会場

期間：11月27日(木)～12月2日(火)

場所：横川創苑（広島市西区横川町3-11-12）

出展作家：「広島芸術学会」

薮野圭一、船田奇岑、久礼汰、  
久保田貴美子、加藤宇章、夏目暢子、  
才田博之、越川道江、佐野恵子、  
鳥谷部圭子、岡孝博、的場智美  
「蟹屋 Fine Arts」

伊藤敦、山下真麗子

「広島芸術センター」

加藤果琳

[Site B]：広島芸術センター会場

期間：11月30日(日)～12月7日(日)

場所：広島芸術センター（広島市中区光南2丁目17-1 小中ビル1階）

出展作家：上記の作家+「広島芸術センター」

黒田大祐、七瀬 綾乃

横川創苑はNPO法人広島横川スポーツ・カルチャークラブが運営するレンタルギャラリーです。11時～19時/水曜休日で6日間単位でレンタル致します。横川創荘別館は横川創苑と同時にオープンシアパートの1室にあります。教室の開催場所として、一時的な製作スペースなどとして1日単位でレンタルしています。広島芸術センターは作家のアトリエとギャラリーを併設した施設です。2010年11月に設立しました。普段はアトリエで作家が制作を行い、ギャラリーでは定期的に展覧会を開催しています。

作品をタイトル抜きで概略の説明をします。まずは学会員、薮野圭一、半立体構造を持つ極彩色の作品で独特の空気感を漂わせていました。ランドアートの側面も持たせるべく展示プランの提案もされていました。船田奇岑、異なる素材色彩質量の顔料を満たした茶碗の中に環境音で共振を起こし、茶碗の中に環境由来の紋様を作り出すもの。久礼汰、二箇所のスペースでの写真展示。芸術の未来をウルトラマンと岡本太郎の太陽の塔で暗示する試み。久保田貴美子、キューピー人形を使っ



横川創苑 2



広島芸術センター

## 芸術表現企画

た痛いコンセプチュアル。加藤宇章、白砂を張った本にたむろする不可思議な生命体。夏目暢子、ピラミッド型の立体に書。才田博之、白と黒による半立体作品。越川道江、水彩によるペインティング。佐野恵子、ミクストメディアによる半立体作品。鳥谷部圭子、陶器による不思議な立体造形。岡孝博、合金による存在感のある立体造形。的場智美、iPhoneの動画機能と水道から流れ落ちる水を使った映像作品。「広島芸術センター」、加藤果琳、ストローと人間の頭部を使った造形変換装置。黒田大祐、対馬の廃材を利用したコンセプチュアルアート。七搦 綾乃、木材による立体造形。「蟹屋 Fine Arts」、伊藤敦、映像によるコンセプチュアルアート。山下真麗子、4コマ漫画と本人の肉体を関連させたコンセプチュアルアート。など、小粒ながら多彩な切り口の作品が並びました。最終日にはテルミンのライブパフォーマンスもあ

り、美術館での大作展示にはない実験的なものになったようです。

11月30日(日)には、ザ・談会「地域社会とアートの甘い関係」(横川創荘別館)を開催し、広島芸術学会、横川創荘のメンバーをはじめとする老若男女の作家諸氏と来場者を交えて対談。甘い関係だけでなく、地域社会との関係構築やシェアードアトリエという社会での制作に関する質問など、世代を超えた意見のやりとりがありました。参加学会員にとっては現代の若手作家とのコミュニケーションにより、現在の広島における新たなアートの形を覗き見る機会になったものと想います。今回は短い準備期間での企画となりましたが、今後も学会としての若返りや制作者と研究者の交流をはかれるきっかけをつくれるよう、意味のある会の必要性を説く声も多かったようでした。

(報告者：船田奇彦)



横川創苑 1